

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 実績額 単位:円	③ 事業内訳名称	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション	15,232,328	(1)支援体制の運営 ①医工連携コンシェルジュの配置、自立した支援体制に向けての具体的取組の試行  (2)支援事業の展開 【入口支援事業】 ①各種ニーズとシーズのマッチングから研究事業への指導・助言など ②マッチング機会の設定・提供 【開発支援事業】 ①研究への指導・助言や改良ニーズの提供 ②許認可申請方法や知的財産に係る相談支援など 【出口支援事業】 ①製品化された器具等の圏域内外への販路開拓 ②ISO13485取得等の指導・助言など	15,232,328	指標① 医療機器等の 実用化件数	2	件	R3.3	2	地方創生 に効果 があった	総合戦 略のKPI 達成に 有効で あった	【達成率】 指標① 33.3% 指標② 13.8% 指標③ 25.0%  別紙 「各委員意見のま とめ」のとおり	事業の 継続	指標①については、新規2 件が実用化となり、これま での活動が実を結びつつあ る。指標③についても、近 年コンスタントに実績が積 みあがってきている。 指標②は、コロナ禍におい て、医療機関や企業への訪 問が積極的に展開できない 状況下での結果であるが、 近年の相談件数の結果を 踏まえると、引き続き、関係 機関と連携し、事業を展開 していく必要がある。  別紙 「地方版総合戦略における 施策・主な成果・KPIの達成 状況」のとおり
指標② 支援事業の相 談件数	100	件	R3.3	55										
指標③ 研究事業への マッチング件数	5	件	R3.3	5										
No	① 交付対象事業の名称	② 実績額 単位:円	③ 事業内訳名称	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について	
2	中海・宍道湖・大山圏域 インド人 材確保・企業連携 推進事業	4,721,837	(1)インドIT等人材雇用に関する調査 等 ①調査委託費  (2)インド留学生のインターンシップの 実施 ①業務委託料 ②バス借上げ、消耗品等  (3)インドケララ州での日本語教育の 実施 ①日本語教師報酬等 ②日本語教材費  (4)インドケララ州での圏域企業の就 職フェアの実施 ①圏域PR費(ブース設営費、旅費 等)	1,086,837	指標① インドIT等人材 の圏域内企業 への就職者数	5	人	R3.3	0	地方創生 に効果 があった	総合戦 略のKPI 達成に 有効で あった	【達成率】 指標① 0.0% 指標② 0.0% 指標③ 0.0%  別紙 「各委員意見のま とめ」のとおり	事業の 継続	コロナ禍において、インドと の往来が困難であったた め、すべての指標で実績が 伴わない結果となった。 しかしながら、オンラインに よる日本語教育、企業説明 や個別面談等を実施し、事 業が停滞することのないよ う努めてきた。 引き続き、ケララ州との関 係を生かした事業の推進が 必要である。  別紙 「地方版総合戦略における 施策・主な成果・KPIの達成 状況」のとおり
指標② 日印間業務提 携企業数	1	件	R3.3	0										
指標③ インド人留学生 インターンシ ップ受入れ人数	14	人	R3.3	-										

No	① 交付対象事業の名称	② 実績額 単位:円	③ 事業内訳名称	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について			
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
3	中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト～山陰まんなか共和国の挑戦～	12,781,080	(1)中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構の自立に向けた取組の推進 ①収益事業(観光分野・物産分野)案の試行の検証と更なる展開	2,478,080	指標①	圏域への観光客入込数	40,700,000	人	R3.3	17,077,995	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	【達成率】 指標① ▲93.4% 指標② ▲198.7%	別紙 「各委員意見のまとめ」のとおり	事業の継続	指標①、指標②それぞれにおいて、三密の回避や国内における移動の制限、訪日外国人の減少等、様々な制約もあり、目標を大きく下回る結果となった。 一方で、コロナ禍における事業展開のノウハウの蓄積、収束後に早期に始動するために必要なコンテンツや体制づくりに努めてきた。引き続き、コロナ感染症の動向を見極めながら、より効果的な施策を展開していく必要がある。
			(2)国内向けプロジェクト・三大都市圏等に向けた圏域PR経費 ①各種広告媒体を活用した圏域の情報発信		指標②	圏域での外国人宿泊客数(実績は参考値:島根県のみ、鳥取県集計中)	123,000	人	R3.3	10,204						
			(3)海外向けプロジェクト・圏域インバウンド対策事業 ①ターゲット国を絞ったプロモーション・イベント等の実施経費 ②海外旅行者ファムトリップの実施	10,303,000												
			(4)東京オリンピック・パラリンピックを契機とした圏域情報発信・誘客事業 ①2020東京オリンピック・パラリンピックを見据えた圏域PRの実施													